

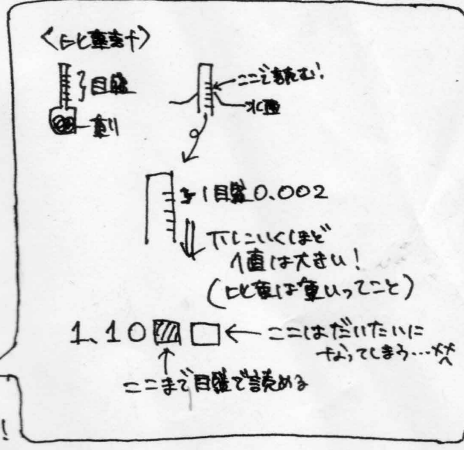
即時濃酸(無加温)用  
比重1.110に調整

79  
濃硫酸の入ったビン(実験室用1本, 廃室用2本)  
前回使った分はフタを足してやる。

(...新しい濃硫酸のめだつと臭いが強い。古い濃硫酸と混ぜた方が臭いがいいとかいう迷信。  
濃硫酸の臭いの面からは、古い濃硫酸を混ぜる二つの意味はない。)

印や床で茶色くにごっている。このビンにはまだいい2000mLくらいしか入らない。

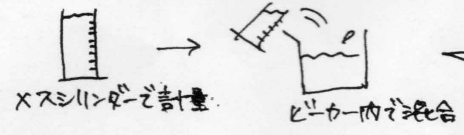
- 使うもの
  - Xスリリンダー (一番大きいやつ。重いから底を握って!!)
  - ビーカー (木)
  - ガラス棒 (3液を混合する際用いる)
  - 前回使用した濃硫酸とこのビン。
  - 塩酸 (顕微鏡鏡がある実験室の洗いは場近くの下の物置に置いてある中の箱の中に入ってる。)
  - 蒸留水 (36%)
  - 比重計 ← Xスリリンダー内に浮かべるときははと!!
  - 温度計 ← 温度計で濃硫酸を混ぜ混ぜして割らないように!! というのが好きでない!!
  - ホルマリン... タンパク質がこたまる。半粒と卵をこっつするのために、濃硫酸液にも混ぜる。



- 手拭紙 (手袋, 白衣着用)

作業は全てドラフト内でやる。0.7:1.1

① 蒸留水: 塩酸(36%) = 1.4L: 2.2L で混合。



**蒸留水**に **塩酸** を入れる

塩酸に水を加えると、  
水は反応し発熱する

ビンを開けると白い煙が発生したのうに見えろ。  
これは塩化水素ガスが空気中の水蒸気と反応しているため。吸い込まないよう!!

Xスリリンダー, Xスラスコは汚れを洗うときは  
湯が付くと容量が変わってしまい、計量値が変化  
してしまうので、必ず洗わない。(スポンジで洗わない)

② 古い濃硫酸液に新しく作っている濃硫酸液を混合し、Xスリリンダーに入れる。

\* フラスコは洗ったため、比重計が使えない。



ガラス棒で混ぜる際、Xスリリンダーにカチカチやあたらないように!  
ゆっくりXスリリンダーの底を慎重にしっかりと混ぜる。

③ 温度、比重を測定し、比重1.110になるように調整する。 → 比重は温度により変化する。表を参照。

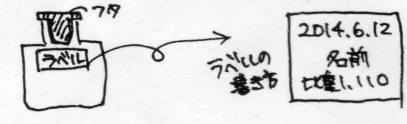


④ 比重が1.110になるように調整は、ホルマリンを5%の濃度になるように混合する。  
→ ホルマリンを入れると、比重が変わるので、先にホルマリンを入れるのも可。  
(...ホルマリン入れて → 古い液入れて → 新しい液入れてでモOKってこと)

ホルマリンの量は全体の5%  
にするようにする。  
今回は1ビン2000mLに水+  
100mL (←ビーカーでおおよそで  
計量してやる)

⑤ もう一度比重を確認。

⑥ ラベルをビンに貼る、完成!



⑦ 作業後は、アルコールなどで水でぬらして外についているHClをふき取る。底まで洗えば水で流しておく。  
(濃硫酸液がビンの外についていると素手でさわったときは危ない。洗った場のステンレスとかさびちゃう。水盤に直で流していい。)

# 塩酸は劇薬! 扱いに注意!!